

編集後記

第19巻も最終号となりました。今年度は、1号に恒例の社会保障研究所シンポジウムの記録を掲載し、2号・3号でも特集号をくみました。特集号で増頁をいたしました関係上、本4号の頁数は若干少なめになりましたが、御容赦下さい。

4号では通常の編集にもどっておりますが、期せずして就業とか雇用をテーマとする論文がならびました。このうちロバート・エヴァンス教授の論文は、当研究所の研究プロジェクト「高齢者世帯の家計行動と社会保障に関する研究」の研究会において、昨年4月、同氏より報告があった内容のものです。あらためて論文として執筆していただき、本誌に翻訳を掲載いたしました。同研究プロジェクト報告とあわせて御覧いただければと考えております。

ところで、長い間、本誌の編集等に御尽力をいただきました、当研究所の平石長久調査部長が本年4月より大学に転出されることになりましたので、とくに執筆をお願いして本号に論文をお寄せいただきました。今後共、本誌の編集委員として御協力をお願いする次第です。

さて、次号から本誌も第20巻目にはなりますが、社会保障研究所は来年1月には設立20周年を迎えることになります。したがって、本誌20巻の編集にあたりましては、研究所設立20周年を記念するに相応しい内容にすべく、いくつかの企画を検討いたしております。これからも、一層の御指導と御協力をお願い申し上げます。(宇野)

編集委員長 福 武 直 (社会保障研究所長)

編集委員 青 井 和 夫 (津田塾大学教授)
飯 野 靖 四 (慶応義塾大学教授)
小 沼 正 (駒沢大学教授)
小 林 良 二 (東京都立大学助教授)
小 山 路 男 (上智大学教授)

地 主 重 美 (千葉大学教授)
平 石 長 久 (社会保障研究所調査部長)
保 坂 哲 哉 (金沢大学教授)
三 浦 文 夫 (日本社会事業大学教授)
安 川 正 彬 (慶応義塾大学教授)

編集幹事 宇 野 正 道 (社会保障研究所研究員)
城 戸 喜 子 (社会保障研究所主任研究員)

高 橋 紘 士 (社会保障研究所研究員)

(五十音順)

季刊

社会保障研究 Vol. 19, No. 4, Spring 1984

(通巻 83 号)

昭和 59 年 3 月 26 日 発 行

編集・発行所

社 会 保 障 研 究 所

〒100 東京都千代田区霞が関3丁目3番4号

社会事業会館内

電話 (580) 2511

製 作

財団法人 東京大学出版会

〒113 東京都文京区本郷7丁目3番地の1

電話 (811) 8814